

令和3年度

事業報告書

一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

I 研修・教育活動

1. 交通安全教育指導者等養成活動

- (1) 交通安全教育指導者研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催・・・・・・ 4
- (4) 交通ボランティア等ブロック講習会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

2. 交通安全教育指導者等支援活動

- (1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催・・・・・・・・・・・・ 7
- (2) オンラインを活用した交通安全教育手法の開発および普及の実施・・・・・・・・ 7
- (3) 二輪車（原付）通学許可校支援事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (4) 講師派遣の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (5) 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施・・・・・・・・・・・・ 8

3. 交通安全教育啓発活動

- (1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした
移動型交通安全啓発活動の実施・・・・・・・・・・・・ 9
- (2) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施・・・・・・・・ 9
- (3) 児童・生徒及び高齢者を対象にした自転車交通安全教室の実施・・・・・・・・ 10
- (4) 自転車安全利用講習会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (5) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (6) 国際協力による教育普及活動の実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (7) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進・・・・・・・・・・・・ 10
 - ①シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の事務局・・・・・・・・ 10
 - ②交通安全フォーラム推進協議会の事務局・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - ③全国交通安全運動への参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - ④交通安全ファミリー作文コンクールの実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

II 調査研究活動

- (1) 小学校3年生以上の児童を対象とした自転車安全教室の
効果や安全意識等の定着についての調査・・・・・・・・ 11
- (2) 内閣府事業「令和3年度 高齢者の交通安全対策に関する調査」（一部委託）・・・・ 12

III 情報収集提供活動

- 1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2. ホームページによる情報の発信及び収集・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

IV 教材の制作・普及事業

- 1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 3. 児童及び自転車通学者向け高視認性安全服認証及び推奨制度の普及・・・・・・ 13

V 基本財産の運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

VI 会議の開催

- 1. 理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2. 評議員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 3. その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

I 研修・教育活動

交通安全教育の担い手である指導者等の養成と指導力・資質の向上を目的として研修・支援を行うとともに、子供や高齢者、一般市民等の交通参加者を対象に、交通安全意識の向上と安全な交通行動の実践化を図ることを目的として交通安全教育啓発活動を実施した。

1. 交通安全教育指導者等養成活動

(1) 交通安全教育指導者研修会の開催

交通安全教育に携わる行政担当者、交通指導員等を対象に、指導者としての資質向上を目的とした研修会を、内閣府の後援を得て、新型コロナウイルス感染症予防のため、Zoomを活用したオンラインで開催した。

①開催日 令和4年2月18日(金)

②実施方法 Zoomを活用したオンライン研修会

③テーマ 「子どもと高齢者に対する効果的な交通安全教育」

④内容 9:10～15:50

○講義1「子どもの交通被害事故 通学路の安全を中心に」

講師：日本こどもの安全教育総合研究所 理事長 宮田 美恵子 氏

○講義2「高齢者の交通安全 ～特に運転者の目線から～」

講師：(公財)豊田都市交通研究所 研究部 次長 三村 泰広 氏

○事例発表動画内容に関する質疑応答

※ 事例発表については、発表者側で収録した動画を特設 Web サイトで事前に視聴してもらった。

事例発表1「高齢者の交通指導」

発表者：神奈川県警察本部 交通安全教育隊

事例発表2「幼児交通安全教室（交通安全・防犯）」

発表者：新潟県聖籠町役場 聖籠町交通安全指導員

○班別協議・全体会

⑤参加者 71名

(2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催

チャイルドシートの正しい知識の定着と使用の促進を目的として、チャイルドシートに関する法的・技術的知識、正しい装着方法など専門的知識を修得した指導者を養成するための研修会を、内閣府、警察庁及び国土交通省の後援を得て、新型コロナウイルス感染症予防のため、eラーニング方式を活用したオンラインで開催した。

①開催日 令和4年3月14日(月)～3月25日(金)

②実施方法 eラーニング方式を活用したオンライン研修会

③内容 ○子どもたちの命を守るチャイルドシート

講師：埼玉県立小児医療センター 小児救命救急センター 植田 育也 氏

○チャイルドシートの使用義務について

講師：警察庁 交通局 交通企画課 堀之内 博史 氏

○チャイルドシートの技術基準について

講師：国土交通省 自動車局 審査・リコール課 西野 浩史 氏

○チャイルドシートの基礎知識について

講師：(一社)日本自動車連盟 東京支部事業課交通環境係 善養寺 雅人 氏

○チャイルドシートの取付け方法

講師：(一社)日本自動車連盟 東京支部事業課交通環境係 内藤 康介 氏

④参加者 350名

(3) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催

自動車教習所指導員を対象に、高等学校の自転車安全教育の充実に寄与することを目的として、高校生に対する自転車安全教育における効果的な手法や知識を習得したインストラクター養成のための講習会を、新型コロナウイルス感染症予防のため、eラーニング方式とZoomを活用したオンラインで開催した。

受講後、一定の要件を満たした者には、当協会から「高校生向け自転車安全教育インストラクター」認定証を交付するとともに、1事業所に3名以上の認定者がいる事業所については、適正な活動を行う旨の誓約書の提出をもって「高校生向け自転車安全教育団体」として認定をした。

また、認定者のレベルアップを図ることを目的とした中級、上級認定更新講習会をオンラインで開催した。

【認定講習会】

- ①開催日 eラーニング視聴期間：令和3年11月1日（月）～11月25日（木）
ZOOM講習会：令和3年11月25日（木）10:00～17:00
- ②実施方法 eラーニング方式とZoomを活用したオンライン講習会
- ③内 容 **【eラーニング（事前視聴）】**
- 講義1「高等学校における交通安全教育の現状と進め方について」他
 - 講義2「自己理解を促すためのディスカッション手法（理論）」
 - 講義3「屋外で実施する自転車教育の手法等について」
 - 講義4「自転車の交通ルールについて」
- 【Zoom講習会】**
- 講義5「自己理解を促すためのディスカッション手法（実演）」
 - 協議「ディスカッション手法を活用した指導案作成」「実演リハーサル」
 - 実演「ディスカッション手法を活用した実演発表」
 - オンラインによる筆記テスト
 - 課題：事故再現実演の動画を収録して提出（LINEを活用）
- ④講師 東北工業大学 教授 小川 和久 氏
(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智 氏
(一財)日本交通安全教育普及協会
- ⑤参加者 12名

【中級更新講習会】

- ①開催日 eラーニング視聴期間 令和3年11月1日（月）～11月26日（金）
Zoom講習会 令和3年11月26日（金）10:00～17:00
- ②実施方法 eラーニングとZoomを活用したオンライン講習会
- ③内 容 **【eラーニング（事前視聴）】**
- 講義1「高等学校における自転車教育事例紹介」等
 - 講義2「新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した自転車安全教室」
 - 講義3「アイスブレイクの実践（他己紹介、コーチング理論）」
 - 講義4「リスニング（アクティブリスニング理論）の技法」
- 【Zoom講習会】**
- 講義5「クエスチョン（質問の技法、オープンクエスチョン実習）」
 - 協議1「コーチング技法展開協議（事故はなぜ起きた?）」
 - 協議2「実践を想定したシナリオ案作成」
 - 実演「コーチング技法実践（グループディスカッションの展開）」
- ④講師 (株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智 氏

(一財) 日本交通安全教育普及協会

⑤参加者 9名

【上級更新講習会】

①開催日 eラーニング視聴期間 令和3年11月1日(月)～11月30日(火)

Zoom講習会 令和3年11月30日(火) 10:00～17:00

②実施方法 eラーニングとZoomを活用したオンライン講習会

③内 容 【eラーニング(事前視聴)】

○講義1「高等学校における自転車教育事例紹介」等

○講義2「新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した自転車安全教室」

○講義3「コーチングメソッド(マイクロコーチング等)を活用した教育手法」

【Zoom講習会】

○活動報告「高等学校、その他での交通安全教育活動事例発表」

○協議1「高校生向け自転車安全教室を想定した実施企画案作成」

○講義4「コーチングメソッド(マイクロコーチング等)を活用した教育手法(応用編)」

○協議2「実践を想定した指導案・シナリオ案作成」

○実演「マイクロコーチング技法を活用した交通安全教室の実演発表」

④講師 (株)ムジコ・クリエイティブ東京営業所 所長 野藤 智 氏

(一財) 日本交通安全教育普及協会

⑤参加者 17名

(4) 交通ボランティア等ブロック講習会の開催

内閣府事業を外部業者からの再委託を受けて、地域の交通ボランティアや交通指導員等を対象に、ボランティア等の交通安全に対する意識の高揚及び資質の向上を図り、地域社会全体の交通安全の確保を図ることを目的とした、主に子供と高齢者の交通安全をテーマにした講演や各地の活動事例発表、班別協議等を内容とする講習会を、新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインを併用してブロック別に開催した。

主に講師、コーディネーターの手配及び当日の司会進行、現地対応全般についての業務を担当するとともに、実施業者に対する助言等を行った。

①北海道ブロック

開催日 令和3年11月8日(月)～9日(火)

会場 ホテルポールスター札幌(北海道札幌市)

講演 ○講演1「高齢者の交通安全～安全・安心のコミュニティ再生～」

講師：交通評論家 溝端 光雄 氏

○講演2「自転車の安全利用のために」

講師：(一財) 日本交通安全教育普及協会 次長 彦坂 誠

参加者 現地19名、オンライン31名

②東北ブロック

開催日 令和3年11月18日(木)

会場 ホテル福島グリーンパレス(福島県福島市)

講演 ○講演1「子どもの道路横断の判断能力とは？～交通安全教育における家庭・地域の役割～」

講師：東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 准教授 稲垣 具志 氏

○講演2「高齢者(運転者も含めた)に対する交通安全の動機づけ」

講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男 氏

参加者 現地6名、オンライン13名

③関東・甲信越ブロック

開催日 令和3年9月15日(水)

会場 オンライン講習会

講演 ○講演1「事故防止点検の視点と障害児者の交通安全」

講師：特定非営利活動法人 日本子ども安全教育総合研究所
理事長 宮田 美恵子 氏

○講演2「高齢者(運転者も含めた)に対する交通安全の動機づけ」

講師：千葉大学 名誉教授 鈴木 春男 氏

参加者 オンライン26名

④東海・北陸ブロック

開催日 令和3年10月21日(木)

会場 富山県民会館 304会議室(富山県富山市)

講演 ○講演1「自転車の安全利用のために」

講師：(一財)日本交通安全教育普及協会 次長 彦坂 誠

参加者 現地14名、オンライン9名

⑤近畿ブロック

開催日 令和3年9月2日(木)～3日(金)

会場 ホテルルビノ京都堀川(京都府京都市)

講演 ○講演1「子どもの道路横断の判断能力とは?～交通安全教育における家庭・地域の役割～」

講師：中央大学研究開発機構 准教授 稲垣 具志 氏

○講演2「自転車の安全利用を促進するために～ボランティア活動の意義～」

講師：神戸女学院大学 人間科学部 准教授 矢野 円都 氏

参加者 現地4名、オンライン14名

⑥中国・四国ブロック

開催日 令和3年10月26日(火)

会場 岡山県立図書館 多目的ホール(岡山県岡山市)

講演 ○講演1「交通ボランティアの育成について」

講師：安全教育研究所 所長 星 忠通 氏

○講演2「自転車の安全利用のために」

講師：(一財)日本交通安全教育普及協会 次長 彦坂 誠

参加者 現地10名、オンライン19名

⑦九州ブロック

開催日 令和3年10月14日(木)

会場 ザ・ニューホテル熊本(熊本県熊本市)

講演 ○講演1「子どもの道路横断の判断能力とは?～交通安全教育における家庭・地域の役割～」

講師：中央大学研究開発機構 准教授 稲垣 具志 氏

○講演2「高齢者の交通安全～高齢者を家庭・地域で守る～」

講師：安全教育研究所 所長 星 忠通 氏

参加者 現地4名、オンライン14名

2. 交通安全教育指導者等支援活動

(1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催

都道府県教育委員会並びに政令指定都市教育委員会の交通安全教育担当者等を対象に、今後の安全教育の方向性を探り、その成果の普及を図ることを目的として、文部科学省の後援を得て、講義及び子供の交通事故実態等を踏まえた重要課題についての協議、意見・情報交換等を内容とする協議会を、新型コロナウイルス感染症予防のため、Zoomを活用したオンラインで開催した。

- ①開催日時 令和3年7月2日(金) 13:00~16:00
- ②実施方法 Zoomを活用したオンライン協議会
- ③内 容
 - 講義「これから求められる交通安全教育」【収録動画事前視聴】
講師：文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課
安全教育推進室 安全教育調査官 森本 晋也 氏
 - 実践事例「オンライン型自転車交通安全教室の紹介」【収録動画事前視聴】
協力：さいたま市立美園南中学校・さいたま市立海老沼小学校
発表者：(一財)日本交通安全教育普及協会 普及事業部 係長 井澤 夕里
 - 協議「学校に求められる交通安全教育」
 - 意見・情報交換 (主なテーマ)
 - 1. 地域と連携した通学路の安全確保と課題
 - 2. ポストコロナにおける交通安全教育の新たな可能性
 - 3. 自転車乗用ヘルメット着用向上の推進

③参加者 都道府県教育委員会並びに政令指定都市教育委員会他 22名

協議会開催直前に発生した、千葉県八街市の児童死傷事故を受け、当初の予定からテーマ等を変更し、通学路の安全管理、国の動向について文部科学省安全教育調査官 森本晋也氏からの情報提供をもとに協議を実施した。

(2) オンラインを活用した交通安全教育手法の開発および普及の実施

(一社)日本損害保険協会の自賠償運用益拠出事業からの補助により、平成23年~25年度にプレドライバ教育拡充活動を実施したが、令和3年度においては実施内容の見直しを行い、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の対面・集合型の交通安全教育が実施困難なケースがみられる現状を踏まえ、コロナ禍における交通安全教育の機会確保を目的として、学校などで実施されている既存の交通安全教室(リアル交通安全教育)については適切な感染症予防対策を組み込んだ運営ノウハウの確立を図るとともに、新たな様式として非対面・非接触型の交通安全教育(オンライン交通安全教育)手法の企画・検討とオンライン交通安全教育用プラットフォーム及びコンテンツを開発した。

また、対象となる児童・生徒を「新入学児童(歩行者)」「小学生(自転車)」「中学・高校生(自転車)」の3つのカテゴリに分け、それぞれでリアル・オンライン2種のモデル事業を実施し、手法やコンテンツについて検証を行った。

【モデル事業一覧】

①リアル教育

○新入学児童(歩行者)

令和3年10月29日(金) 10:45~11:30 上尾市立大石南小学校 小学1年生

○小学生(自転車)

令和3年5月27日(木) 10:40~12:15 練馬区立光和小学校 小学4年生 143名

○中学・高校生(自転車)

令和3年9月2日(木) 13:25~15:15 府中市立府中第二中学校 中学2年生 229名

令和3年9月27日(月) 13:30~15:20 調布市立第四中学校 中学1年生 116名

②オンライン教育

○新入学児童（歩行者）

令和3年11月5日（金） 9:35～10:20 上尾市立大谷小学校 小学1・2年生 210名

○小学生（自転車）

令和3年6月4日（金） 9:35～10:20・11:35～12:20・13:45～14:30

さいたま市立海老沼小学校 小学4年生 114名

令和3年10月29日（金） 9:30～10:15 上尾市立大石南小学校 小学3～6年生 178名

令和3年11月5日（金） 8:40～9:25・10:40～11:25

上尾市立大谷小学校 小学5・6年生 272名、
小学3・4年生 241名

○中学・高校生（自転車）

令和3年4月23日（金） 14:15～15:05 静清高等学校 高校1年生 約200名

令和3年4月26日（月） 9:00～10:00 藤枝順心高等学校 全学年 約450名

令和3年5月7日（金） 14:30～15:20 静岡県立藤枝北高等学校 高校1年生 約200名

令和3年5月27日（木） 11:45～12:30 藤枝明誠高等学校 全学年 約1,080名

令和3年5月25日（火） 10:00～10:50・12:00～12:50・13:50～14:40

さいたま市立美園南中学校 中学2年生 192名

令和3年6月9日（水） 13:15～14:05 東京都立調布北高等学校 高校1年生 240名

令和3年6月16日（水） 15:25～16:10 静岡聖光学院中学校・高等学校 中学1年生

令和3年6月30日（水） 15:25～16:10

静岡聖光学院中学校・高等学校 中学2～3年生、
高校1年生

（3）二輪車（原付）通学許可校支援事業の実施

（一社）日本自動車工業会からの委託を受けて、地域社会全体で高校生の交通事故防止に寄与することを目的に、安全運転実技指導の参考となるよう、高等学校の交通安全指導担当教員及び自動車教習所指導員それぞれの立場からの指導のポイントをまとめた「高校生二輪車(原付含)免許保有者安全運転教育実技指導マニュアル」の改訂を行った。

なお、二輪車通学許可校支援事業として3地区で予定していた、高等学校教員及び自動車教習所指導員合同研修会の開催については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を中止した。

（4）講師派遣の実施

自治体や関係機関・団体、学校及び民間企業等からの要請により、児童・生徒から成人・高齢者までの対象者に合わせた交通安全講習会や啓発イベントへ講師として職員等の派遣を行った。

また、新型コロナウイルス感染症予防に対応した取り組みとして、Zoom等を活用したオンラインでの講義やeラーニング用の講習動画の制作を行った。

（5）参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業の実施

内閣府からの委託を受けて、地域の交通ボランティア等の資質の向上を図るとともに、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的に、地方公共団体から提案された参加・体験・実践型のプログラムを3か所で実施した。

①岩手県会場

事業名 わくわく交通安全体験 in やまだ

日時 令和3年11月21日（日）9:00～14:00

会場 船越公園 鯨と海の科学館内（岩手県下閉伊郡山田町）

参加者 山田町内を中心とした老若男女 556名
内 容 スケアード・ストレイト交通安全体験、自動車シミュレータ体験、自転車シミュレータ体験、シートベルトコンビンサー体験、サポカー試乗、子ども交通安全教室、自動車整備点検コーナー 等

②大阪府会場

事業名 小学校オンライン交通安全教室
日 時 第1回 令和3年10月14日(木) 9:40~10:25 5校
第2回 令和3年10月19日(火) 9:40~10:25 5校
会 場 大阪府池田市役所よりオンライン配信
参加者 池田市内小学校10校の小学校3年生 計867名
内 容 自転車の交通安全教室
講 師 第1回:大阪府警察本部
第2回:池田警察署・池田交通安全協会

③兵庫県会場

事業名 スケアード・ストレイト交通安全教室
日 時 令和3年11月1日(月) 14:35~15:25
会 場 高砂市立宝殿中学校(兵庫県高砂市)
参加者 宝殿中学校1年生 計136名
内 容 スケアード・ストレイト交通安全教室

3. 交通安全教育啓発活動

(1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした移動型交通安全啓発活動の実施

J A 共済連からの委託を受けて、地域で実施されるイベント等に自動車及び自転車の交通事故防止を目的に、交通安全危険予測シミュレータ等を搭載した車両及び指導員を派遣した。

また、自動車シミュレータ体験車に、新たに開発した認知・判断能力診断ができる「運転能力診断シミュレータ」と「高速道路の逆走」及び「ペダルの踏み間違い」防止啓発動画を搭載し、体験機能の拡充を図った。

①自動車シミュレータ体験車 派遣回数 15回

②自転車シミュレータ体験車 派遣回数 14回

(新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅にイベント等の回数が減少)

(2) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施

東京都からの委託を受けて、児童とその保護者及び高齢者を対象に「歩行者向けの交通安全危険予測シミュレータ」を活用した講習会や啓発イベントを実施した。

①小学生向け(実施回数129回 都内の小学校129校)

プログラム ○交通安全クイズ(信号の意味、飛び出しの危険)

○歩行シミュレータ実技体験(横断歩道の渡り方等、危険予測学習)

講 師 (一財)日本交通安全教育普及協会 等

②幼稚園・保育園向け(実施回数4回 都内の幼稚園・保育園4校)

プログラム ○交通安全クイズ(信号の意味、飛び出しの危険)

○歩行シミュレータ実技体験(横断歩道の渡り方等、危険予測学習)

講 師 (一財)日本交通安全教育普及協会 等

③高齢者向け(実施回数6回)

プログラム ○認知・判断力診断

○歩行シミュレータ実技体験(道路の横断の仕方、危険予測学習)

講 師 (一財)日本交通安全教育普及協会 等

④啓発イベント（実施回数4回）

プログラム ○歩行シミュレータ実技体験（対象者に合わせてコース選定）

指導者 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

(3) 児童・生徒及び高齢者を対象にした自転車交通安全教室の実施

東京都からの委託を受けて、主に児童・生徒とその保護者及び高齢者を対象に「自転車の交通安全危険予測シミュレータ」を活用した教室や啓発イベントを実施した。

①小・中・高校生向け（実施回数179回 都内の小・中・高等学校179校 参加者数19,186人）

プログラム ○交通ルールに関する講義（自転車安全利用五則、ヘルメットの着用、点検の重要性、事故発生時の義務）

○自転車シミュレータ実技体験（交差点の通行方法等、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

②高齢者向け（実施回数1回 参加者数27人）

プログラム ○交通ルールに関する講義（自転車安全利用五則、非注意性盲目）

○自転車シミュレータ実技体験（交差点の通行方法等、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会

③保護者向け（実施回数1回 参加者数12人）

プログラム ○交通ルールに関する講義（自転車安全利用五則、非注意性盲目、親子乗り自転車の安全利用、電動アシスト自転車の安全利用）

○自転車シミュレータ実技体験（交差点の通行方法等、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会

④啓発イベント（実施回数11回 参加者数574人）

プログラム ○自転車シミュレータ実技体験（対象者に合わせてコース選定）

指導者 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

(4) 自転車安全利用講習会の実施

東京都武蔵野市からの委託を受けて、一般市民を対象に、自転車事故の発生状況や安全な乗り方等についての講義を内容とする自転車の安全利用のための講習会を実施した。

令和3年度は、合計33回835名が受講し、講習会終了後に自転車安全利用認定証の交付、反射材配付、市民にはTSマーク助成券の交付等を行った。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、Zoomを活用したオンライン形式での講習会も試行実施した。

東京都武蔵野市以外にも、東京都調布市において、市職員や一般市民を対象とした自転車安全利用講習会を開催するほか、台東区において同様の講習会を開催するにあたり、講師派遣を行った。

(5) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施

日本保安炎筒工業会との連携・協力により、交通事故・二次災害等の減少に資することを目的として、発炎筒の使用方法や性能、非常時等における対処方法を普及啓発するためのポスターを5,000枚制作し、全国の都道府県、政令指定都市、警察本部、各高速道路（株）等に配布した。

(6) 国際協力による教育普及活動の実施

JICAバングラデシュ国ダッカ交通安全プロジェクトに対して交通安全教育に関する資料を提供するとともに、令和元年度に採択されているJICA草の根技術協力事業におけるミャンマー連邦共和国での「ヤンゴン市における子供を対象とした交通安全教育指導者養成事業」実施について引き続き検討を行った。

(7) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進

交通安全教育の普及を目的に、下記のとおり、関係機関と連携した活動を推進した。

①シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の事務局

関係省庁、団体等官民一体となって国民のシートベルトとチャイルドシートの着用推進啓発活動を行っている「シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会」の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

②交通安全フォーラム推進協議会の事務局

国民の交通安全意識を高揚することを目的とした交通安全フォーラム（内閣府及び開催地の都道府県・市主催、関係省庁後援、関係団体協賛）の推進協議会の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

日 時 令和3年11月11日（木） 14:00～16:30

場 所 山口県／新型コロナウイルス感染症予防のため、集客せずオンラインで配信

テ マ 地域で子どもを守る交通安全活動

内 容 ○基調講演「地域で子どもを守る交通安全活動」

東北工業大学 総合教育センター 教授 小川 和久 氏

○パネルディスカッション

鈴木 春菜 氏（山口大学工学部准教授）

白石 敏行 氏（山口大学教育学部教授）

吉尾 憲治 氏（山口県交通指導員）

國本 泰功 氏（KRY 山口放送報道制作局アナウンス部長）

田中 憲治 氏（山口県警察本部交通部参事官）

③全国交通安全運動への参加

官民一体となって実施している「春・秋の全国交通安全運動」に協賛団体として参加・協力を行った。

④交通安全ファミリー作文コンクールの実施

警察庁及び関係団体との共催により、「我が家の交通安全」をテーマにして各家庭における交通安全に関する話し合いを進めることを通じ、国民1人1人の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に資することを目的とした交通安全ファミリー作文コンクール（43回目）を実施した。

令和3年度は、小学生895点、中学生3,997点、合計4,892点の応募となった。

II 調査研究活動

効果的な交通安全対策、事業の企画・実施に資することを目的として、令和3年度は、「小学校3年生以上の児童を対象とした自転車安全教室の効果や安全意識等の定着についての調査」及び「内閣府事業高齢者の交通安全対策に関する調査」の一部委託を受け、「高齢運転者が安全に運転を続けるための教育プログラムの作成」を行った。

(1) 小学校3年生以上の児童を対象とした自転車安全教室の効果や安全意識等の定着についての調査

児童を対象とした自転車安全教室の手法について、知識や安全意識の定着度の観点から効果測定を行い、その結果を踏まえた教育現場で活用できる望ましい自転車安全教室の指導方法の在り方を探るために調査を実施した。

調査では、自転車シミュレータを活用した危険予測学習、自分と他者の安全を守るための適切な行動について児童が主体的に考える手法を取り入れた交通安全学習、障害の特性に配慮した特別支援学級での指導は、児童の興味・関心を高め、知識や安全意識の向上に効果的であることが分かった。

また、教職員が一体となって、様々な試行錯誤を行いながら、継続的に学習活動を行うことが知識や安全意識の定着につながることも実感できた。

(2) 内閣府事業「令和3年度 高齢者の交通安全対策に関する調査」(一部委託)

内閣府調査事業を受託した株式会社富士通総研より委託を受け、専門家の協力を得て、「高齢運転者が安全に運転を続けるための教育プログラムの作成」を行った。

実施内容

- ・運転に関わる人間の機能と運転に必要な要素(能力)の調査・整理
- ・高齢者向け運転に必要な身体能力の維持のための体操プログラム
- ・高齢運転者のための運転行動チェックリストの作成(17項目)
- ・体操プログラム及び運転行動チェックリストの検証

専門家

千葉県立保健医療大学 健康科学部リハビリテーション学科 准教授 藤田 佳男 氏
一般社団法人日本作業療法士協会 西 則彦 氏

Ⅲ 情報収集提供活動

主として行政や教育現場、地域や職場において交通安全教育に携わっている担当者等に対し、交通安全教育や啓発活動を推進する上で有益かつ実践的な情報を提供するとともに、当協会の活動内容やタイムリーな交通安全情報等を広く国民一般に向けて発信することを目的として、下記のとおり、2種類の活動を実施した。

1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行

交通安全に関する対策や指導方法、具体的な教育指導事例等を掲載した月刊誌「交通安全教育」を毎月編集・刊行した。

さらに、3月号より電子書籍版を作成し、専用サイトからスマートフォンやパソコンで閲覧できるようにした。

2. ホームページによる情報の発信及び収集

フェイスブック、ツイッターなどのSNSの積極的な活用を通して、広く交通安全教育や各種教材・教具等に関する情報を発信するとともに、双方向的に全国からの情報の収集に努めた。また、電子書籍サービスの開始にあたり、個人情報保護ポリシーを改訂しホームページにも記載した。

Ⅳ 教材の制作・普及事業

1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及

既存の交通安全教育啓発資料・機材について、交通事故の経年変化や道路交通法の改正等に対応して、適宜、資料・教材の改訂を行うとともに、全国の自治体、関係機関・団体等に対する訪問活動やホームページ・SNS・DM等の媒体を活用した広報活動を通して、広く周知を図り、各種の交通安全活動を効果的に進める上での有効活用を普及促進した。

また、「交通安全危険予測シミュレータ(自動車編)」において、新たにモーションシートを採用し実際の車の挙動をリアルに体験できるようにするとともに、運転に必要な認知・判断能力について確認できる「運転能力診断シミュレータ」を新たに開発し、体験機能の充実を図った。

2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施

関係機関・団体及び民間企業等が企画・制作する交通安全啓発用資料・教材に対して、要請に応じて企画・監修・指導等を行った。

3. 児童及び自転車通学者向け高視認性安全服認証及び推奨制度の普及

「子どもたちを交通事故から守り、ドライバーを加害者にしない」ことを目的として、ドライバーから児童や自転車通学者の視認率を高めるための高視認性安全服の着用普及を図るために、「児童及び

自転車通学者向け高視認性安全服」に対して交通事故防止の観点から基準を設け、基準に適合した製品を認証するとともに、その証として認証ラベルを発行した。

- ①認証・推奨数 認証件数 7 件、推奨件数 15 件（令和 4 年 3 月 31 日現在）
- ②ラベル発行数 認証ラベル 16,282 枚、推奨ラベル 166,760 枚（令和 4 年 3 月 31 日現在）

V 基本財産の運用

当協会の健全な運営を進めるためには、安定した財政基盤が不可欠であることから、所有ビルを賃貸するなど、基本財産等の運用に関する事業を引き続き実施し、その運用益の確保に努めた。

VI 会議の開催

以下のとおり、理事会、評議員会等を開催した。

1. 理事会

- (1) 期日 令和 3 年 6 月 9 日（水）
会場 (一財)日本交通安全教育普及協会 会議室（新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインを併用して開催）
議題 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告書（案）の承認について
第 2 号議案 令和 2 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書（案）の承認について
第 3 号議案 令和 2 年度公益目的支出計画実施報告書概要（案）の承認について
第 4 号議案 一般財団法人日本交通安全教育普及協会職員退職手当規定(案)について
第 5 号議案 定時評議員会の開催（案）について
第 6 号議案 代表理事の職務執行状況の報告について
- (2) 期日 令和 4 年 3 月 15 日（火）
会場 (一財)日本交通安全教育普及協会 会議室（新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインを併用して開催）
議題 第 1 号議案 令和 4 年度事業計画（案）の承認について
第 2 号議案 令和 4 年度収支予算（案）の承認について
第 3 号議案 就業規則・給与規程・専門職員給与規程の改正について
第 4 号議案 育児休業等規程・介護休業等規程の改正について
第 5 号議案 代表理事の職務執行状況の報告について

2. 評議員会

- 期日 令和 3 年 6 月 25 日（金）
会場 (一財)日本交通安全教育普及協会 会議室（新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインを併用して開催）
議題 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告について
第 2 号議案 令和 2 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について
第 3 号議案 令和 2 年度公益目的支出計画実施報告書（概要）について
第 4 号議案 評議員の選任について

3. その他

ほぼ 1 か月に 1 回の割合で、代表理事・事務局による定例会議を開催し、業務の執行等について連絡協議を行った。